画像データモジュール＋S

Ver7

画像データモジュール＋S　とは

「画像データモジュール＋S」は、製造業（とくに金属加工業）のお客様の多くが課題とする「出図工数の削減」、「生産に必要な各種ﾌｧｲﾙが一元管理されていない」に対応したファイル管理用パッケージ・ソフトウェアです。
「画像データモジュール＋S」単体での使用も可能ですが、受注出荷モジュール+Mと組み合わせて使用することで「図面等の手配工数削減」が可能になります。

■ ツリー構造での管理！

実際の製品構成と同じ“ツリー構造”で、1つの品番に最大16種類のデータを管理できます。これにより、親品番の組図は「溶接工程」へ。子品番の部品図は「NCT/ﾚｰｻﾞｰ工程」へ手配することが容易に行えます。

■ レイヤー編集！

5層のレイヤー編集と検査レイヤーの編集が行えます。
これにより、元図面を変更することなく、それぞれのレイヤーに図形や文字を載せ、元図面と5層のレイヤーを合成させた“図面”を作成することができます。例えば、レイヤー1に加工ノウハウを記載した“加工図面”、レイヤー2に検査指示を記載した“検査図面”を作成できます。
さらに受注出荷と連携することで、検査用レイヤーに検査情報を記載した“検査記録図面”を注文毎に保管することが可能になります。

■ ネットワーク対応！

データはデータベースで一元管理。事務所パソコンで登録した画像を現場パソコンで表示・印刷できます。

■「受注出荷モジュール＋M」とのリンク！

「受注出荷モジュール＋M」での作業指示書出力と同時に印刷できます。また、作業指示書の下半分や裏面に画像（図面等）を印刷することも可能です。

■ タブレット端末連携！（ｵﾌﾟｼｮﾝ）（※）

iP画像ﾋﾞｭｰﾜは、現場で（場所を選ばずに）図面など閲覧できます。
また、現場で撮影した画像(写真/ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ/動画)をその場で登録することができます。
例えばベテラン作業者が技術伝承の為に、段取・加工の注意点を撮影し、写真や動画で残すことが可能になります。
さらに、前述の“検査図面”に検査結果を記録することが可能です。

導入効果

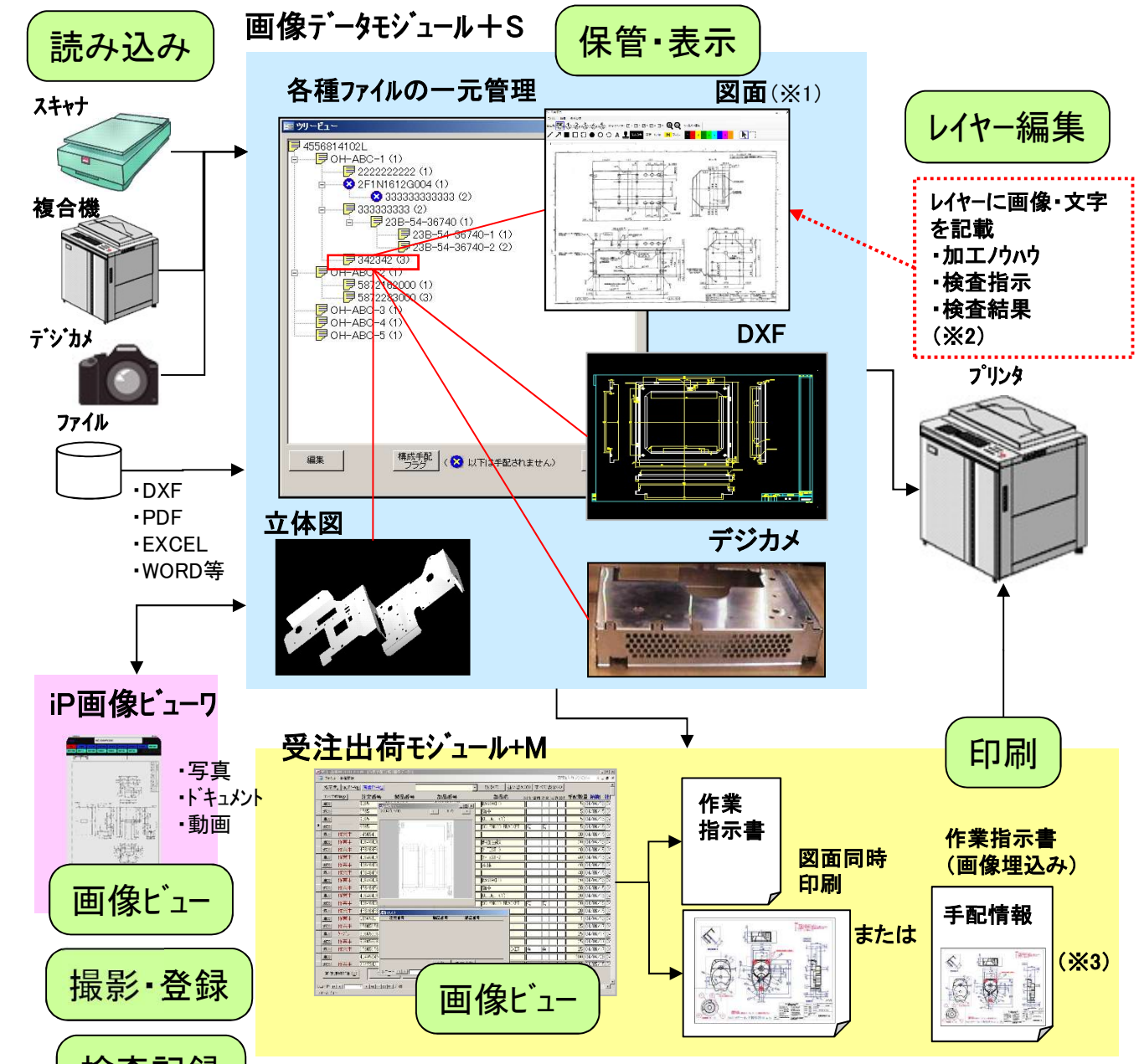
- ■ 図面探しのムダ削減、
- ■ 図面コピーの手間削減
- ■ 加工図面の作成、検査図面の作成、検査記録の作成
- ■ 図面、CADﾃﾞｰﾀ、ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ、ﾃﾞｼﾞｶﾒ写真、動画等あらゆるﾃﾞｰﾀの一元管理
- ■ 紙図面等の保管スペース削減

（※）ｱｯﾌﾟﾙ社製ｽﾏﾎ/ﾀﾌﾞﾚｯﾄで動作する画像ﾓｼﾞｭｰﾙ+Sのｵﾌﾟｼｮﾝｿﾌﾄです。

画像データモジュール＋S

Ver7

機能



（※1）図面ﾌｧｲﾙはTIFF形式での保管を推奨しています。
（※2）TIFF形式の図面ﾌｧｲﾙが対象です。PDF形式の編集はAdobe Acrobat等の専用ｿﾌﾄが必要となります。
（※3）TIFF形式の図面ﾌｧｲﾙが対象です。PDF形式は画像埋込み印刷できません。

必要なシステム構成

- Windows10 Pro以降（推奨64ﾋﾞｯﾄ）のOS
- Celeron以上（推奨Core i5以上）のCPU
- 4GB以上（推奨8GB以上）のﾒﾓﾘ
- Microsoft SQL Server 2014以降（無償版：EXPRESSも利用可）
- 100GB以上のﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ空き容量
- XGA（1024x768ﾋﾟｸｾﾙ）以上のｸﾞﾗﾌｨｯｸ
- ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続環境

お問い合せ

（株）アマダ　ソフト営業部　TEL:0463-91-8030